

鈴木裕也さん（自然科学研究科数理物質科学専攻・博士前期課程2年）が第87回有機合成化学協会関東支部シンポジウムにおいて優秀発表賞を受賞しました。

令和6年11月30日に前橋市中央公民館にて開催された第87回有機合成化学協会関東支部シンポジウムにおいて、自然科学研究科数理物質科学専攻化学コース・博士前期課程2年の鈴木裕也さんが優秀発表賞を受賞しました。

発表題目：5,10,15,20-テトラアリアル-5,15-ジアザポルフィリン 14 族金属錯体の合成
天然および人工の機能性色素として知られるポルフィリンの環外周部を二つの窒素原子で置換した化合物“ジアザポルフィリン”は、ポルフィリンとは似て非なる物性を示すため、近年多くの関心を集めています。本研究では、ジアザポルフィリンの四つの *meso* 位全てにアリアル基を持つスズ錯体とその前駆体となるフリーベースを合成する簡便な方法を確立した上で、 20π 電子系もつスズ錯体の電子状態と反芳香族性との相関を明らかにしました。

指導教員：自然科学系（理学部）俣野善博 教授

関連学会や研究内容 URL <https://www.ssocj.jp/kantosymposium/2024/top/>

